

10月14日に開催された2005年日本平和大会第7回実行委員会は、下記の「呼びかけ」を発表しました。

米軍基地再編強化反対、イラクからの自衛隊撤退、憲法九条守れ
平和の展望切り開く05年日本平和大会 in 神奈川へ、
全国津々浦々から平和の願いを結集しよう

大会まであと1ヶ月 05年日本平和大会成功の呼びかけ

2005年10月14日 2005年日本平和大会実行委員会

平和を愛するみなさん

いよいよ2005年日本平和大会まであと1ヶ月余になりました。「戦後・被爆60年 平和なアジアと世界めざして米軍基地の再編強化反対、基地も軍事同盟もない日本を イラクからの自衛隊の撤退を！ 憲法改悪反対！ 九条守り、非核・平和の日本を」を掲げて開かれるこの大会を、平和の願いと草の根の活動を全国から結集し、かつてない規模で成功させることを呼びかけます。

みなさん

平和大会を成功させることは、総選挙後の情勢の下でいっそう重要になっています。政府・与党は、総選挙で得た多数の議席を笠に着て、アフガニスタンで戦争する米軍を支援するテロ特措法や、無法なイラク占領に加担するイラク派兵の延長をねらい、米軍基地再編強化をこり押ししようとしています。また、憲法九条改悪の動きを強めています。選挙後選出された前原代表のもと、民主党が憲法改悪や日米軍事同盟強化を競い合っていることも重大です。

同時に、こうした動きは国民との矛盾をいっそう深めざるをえません。選挙後の世論調査でも、7割の国民がイラクからの自衛隊の撤退を求めています。62%の国民が憲法9条改定に反対し、「九条の会」などのとりくみが全国に広がっています。侵略戦争美化の「つくる会」教科書の採択率は0.4%に止まりました。地域から自治体・国民を戦争体制に組み込む「国民保護」体制づくりへの反対運動も広がっています。

米軍基地再編強化計画に対しては、神奈川県・座間、横須賀、逗子や山口県・岩国基地周辺など、全国各地で自治体・住民が断固反対の立場を貫き、反対運動が広がっています。沖縄では名護市辺野古沖への新基地建設計画が、10年に及ぶ反対運動の前に行きづまり、米日政府は混迷に陥っています。米軍基地の「移設」を支持する県民はわずか3%、県外・米本土移転を求める県民は8割以上に達しています。国民の世論と運動が、米日政府の戦争体制づくりに立ちはだかっているのです。

みなさん

沖縄に次いで米軍基地が集中し、座間への米陸軍司令部移転など米軍基地再編強化の焦点となっている神奈川で開かれる今年の日本平和大会は、こうした多彩な活動を結集し、学び、交流し、運動を広げる大会です。とりわけ、米軍基地再編強化反対の全国の運動を総結集しこれを打ち破る展望を切り開く大会です。このたたかひの勝利は、アメリカの無法な戦争の「中軸」基地としての米軍基地強化と、自衛隊をアメリカの戦争に参戦させる体制づくりに、大きな打撃を与えるものです。大会中の11月26日には、地元実行委員会が中心となって、座間基地強化反対の大集会も開催されます。この大会には、南米、米国、韓国、オーストラリアの代表も参加し、アメリカの無法な戦争政策と米軍基地に反対し平和をめざす世界の運動を交流します。

みなさん

この大会に向けて、平和大会学習パンフレットを使った草の根からの学習運動と多彩な活動をくり広げ、大会への参加者を大きく広げましょう。10・30沖縄県民大会、11・5横田基地包囲行動や11・19憲法改悪反対大集会などの行動を成功させ、その流れを平和大会に合流させましょう。各地に実行委員会をつくり、広範な地域と団体から代表を送り出しましょう。そして、平和のたたかひの展望を切り開く05年日本平和大会と11・26座間大集会を大きく成功させましょう。